



平成 20 年 2 月 5 日

各 位

会 社 名 株式会社 栄 電 子  
 代表者名 代表取締役会長兼社長 染谷 英雄  
 問合せ先 取締役 総務部長 内田 淳  
 (JASDAQ コード番号7567)  
 TEL (03) - 3836-6821

### 平成 20 年 3 月期業績予想の修正及び配当予想の修正について

当社は、平成 20 年 2 月 5 日開催の取締役会において、平成 19 年 11 月 19 日付「平成 20 年 3 月期中間決算短信」において公表いたしました、平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）業績予想及び配当予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 20 年 3 月期 通期連結業績予想の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	9,151	355	370	208	40 円 92 銭
今回修正 (B)	7,733	159	169	297	58 円 45 銭
増減額 (B - A)	△1,418	△196	△201	89	—
増減率 (%)	△15.5	△55.2	△54.3	42.8	—
(参考) 19 年 3 月期実績	9,482	479	526	289	57 円 01 銭

#### 2. 平成 20 年 3 月期 通期個別業績予想の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	8,299	315	321	178	35 円 07 銭
今回修正 (B)	6,961	143	147	163	32 円 09 銭
増減額 (B - A)	△1,338	△172	△174	△15	—
増減率 (%)	△16.1	△54.6	△54.2	△8.4	—
(参考) 19 年 3 月期実績	8,701	448	485	260	51 円 19 銭

#### 3. 修正の理由

##### ① 連結業績

当社グループの第 3 四半期の業績結果より通期の業績見通しといたしましては、厳しい結果となる見込みであります。

その背景といたしましては、当社主力取引業界である半導体製造装置業界の国内市場における伸び悩み、減産調整が一時的なものであると見込まれていた装置の調整恒常化、国内産業機器市場の低迷

による需要の減少が受注動向に大きく影響し、競争の激化と相まって厳しい環境となっております。

当期平成 20 年 3 月期におきましては、第 1 四半期におきまして大幅な業績修正をいたしました。その際にも状況把握と今後の受注動向の見極めを図るため、当社主力取引業界であります半導体製造装置業界をはじめ、1 千社を超える当社取引先の現況を個々に分析し、生産計画・受注見込み等検討いたしました。また、今期に入り大手部品メーカーとの代理店契約を結び、代理店・特約店の取扱商品を拡充するなど販売力強化を進め、半導体製造装置向けに特化し推進する専任部門の設立や新商品・新素材を取扱い拡販する専門部門の設立といった機動力のある専門部門の活用、既存の取引先を含めた小口販売先の幅広い開拓を進めるために、販売員の増員を行い営業力の強化に努めてまいりました。しかしながら、第 3 四半期の業績を含めた下期の業績、受注動向から検討いたしました結果、予想を上回る需要の減速状況となっております。

そのような状況の中で当社グループの平成 20 年 3 月期の売上高は、7,733 百万円（前回予想比 1,418 百万円減少）となる見込みであります。

営業利益につきましては、売上高の低調推移から売上総利益の減少が見込まれ、販売費及び一般管理費の削減等に努力しておりますものの、159 百万円（前回予想比 196 百万円減少）となる見込みであります。経常利益につきましては、169 百万円（前回予想比 201 百万円減少）となる見込みであります。

なお、当期純利益につきましては、子会社、酒東不動産管理㈱の不動産売却益が特別利益に計上されることから 297 百万円（前回予想比 89 百万円増加）となる見込みであります。

## ② 個別業績

個別業績修正の理由につきましても、連結業績で述べた同様の理由となります。

売上高につきましては、6,961 百万円（前回予想比 1,338 百万円の減少）となる見込みであります。

営業利益につきましては、143 百万円（前回予想比 172 百万円減少）、経常利益につきましては、147 百万円（前回予想比 174 百万円減少）となる見込みであります。

なお、当期純利益につきましては、子会社、酒東不動産管理㈱向けの長期貸付金 145 百万円が不動産売却代金により返済されることから、回収不能額とみなし貸倒引当金に計上していた 130 百万円が特別利益に計上されるため、163 百万円（前回予想比 15 百万円減少）となる見込みであります。

## 4. 平成 20 年 3 月期期末配当予想の修正について

### ① 配当予想の修正の内容

(基準日)	1 株当たり配当金				
	第 1 四半期末	中間期末	第 3 四半期末	期末	年間
前回発表予想	00 円 00 銭	00 円 00 銭	00 円 00 銭	17 円 00 銭	17 円 00 銭
今回修正予想	00 円 00 銭	00 円 00 銭	00 円 00 銭	15 円 00 銭	15 円 00 銭
(参考) 前期実績	00 円 00 銭	00 円 00 銭	00 円 00 銭	17 円 00 銭	17 円 00 銭

### ② 修正の理由

当社は、利益配分につきましては将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しながら、安定した配当を継続して実施していくことを配当政策の基本方針としております。

当期の連結業績見通しとしては、特別利益として子会社の固定資産売却益を計上する予定であります。これにより収益を確保したものの、上記のとおり予想を上回る減速化が進み厳しさを増す事業環境に対応する当社グループの経営体質の強化を図るため、システム投資や物流体制の構築など今後の資金需要など総合的に検討させていただきました結果、当期の配当予想としておりました期末配当 17 円を、誠に遺憾ながら 2 円減額の 15 円に修正させていただくものであります。

以 上